



今年も暖冬のせいか梅の開花も随分と早い。境内の早咲きの梅は一月中旬にはすでに咲き始めていた。例年からすれば10日ほど早いことになる。この分だと2月下旬には全ての梅が咲きそろい「観梅会」の頃にはすっかり見ごろを過ぎてしまうのではないかと心配している。

さて、年が明けてひと月あまり。世間の話題に尽きることはないが、とりわけ新種コスモウイルスの話題には無関心ではいられない。ましてや人から人への感染が現実のこととなると不安と恐怖が倍増し、神経質になってくる。

やがて日本でオリンピックが開かれる。大きな経済的効果を見込んでのオリンピックでもあろうが、まずは安心、安全の日本を来日者に提供することが必須であることを忘れてはならない。一日も早い終息が願われるところである。さてさて大変な一年の幕開けとなったことだ。

スペイン旅行記

Y・O

昨年十一月に念願だったスペインツアーに参加し、素晴らしい世界遺産を見てきました。オフシーズンの十一月は日本よりも寒い日が続きましたが、天気には恵まれました。添乗員さんの話によると、スペインはイスラムに征服されていた時期が長く、イスラム系の建物が多いそうです。イスラムのことは全く知らなかったため、帰国後、イベリア半島の歴史を調べてみると、次のことが分かりました。

西暦七一一年に北アフリカからジブラルタル海峡を越えてイベリア半島に侵入したアラブ系イスラム勢力に半島を支配されてしまいます。その後複数のキリスト教国家が団結して北部から徐々に領土を取り返す戦争「レコンキスタ」が七〇〇年余り続き、一四九二年にカスティリア王国イサベル女王率いるキリスト教徒軍によりイスラム王朝は陥落します。最後のイスラム王朝が無血開城して明け渡したのがアルハンブラ宮殿です。古都グラナダの小高い丘の上に建つアルハンブラ宮殿は、この地を支配していたイスラム教徒の栄華の象徴であり、キリスト教徒との戦いに敗れ、追放される悲劇の舞台でもあります。

ここは世界遺産となっており、人気が高いため予約しないと入場できません。そのうえ、セキュリティが厳しく入場後も三か所ほどのチェックポイントでの入場券チェック、そして一〇人に一人位のパスポートチェックが入りました。この宮殿は幾何学模様のタイルをふんだんに使い、素晴らしい壁面に仕上がっています。また、アルハンブラ宮殿ナスル朝の夏の別荘「ヘネリフエ」は豊かな緑と水、美しい花々に囲まれた、素朴な癒しの庭園です。中でも「アセキアの中庭」は一番のおすすりめです。

最後に訪れたのはバルセロナです。ここではサグラダ・ファミリアやグエル公園などガウディ作品といわれる建物を多数見学しました。着工から一〇〇年以上が経過しても今なお建設途中という、珍しい世界遺産サグラダ・ファミリア。当初完成までには三〇〇年は掛かるだろうといわれていたサグラダ・ファミリアが当初予定の半分ほどで二〇一六年には完成予定だそうです。最近の技術革新や観光客の増加による潤沢な建築資金のお陰だそうです。この建物のスケールの大きさ、午後に見たステンドグラスから差し込む光など、それはまた大感激の連続でした。二〇一六年はガウディ没後一〇〇年という節目の年でもあります。完成したら、もう一度行きたいと思えます。どれもこれも見ごたえある感動・感激の世界遺産ばかりでした。

光受寺懇親会開かれる 1月11日(土)



例年一月の第二土曜日には懇親会が開かれています。

本年は残念なことに、この会の名物料理であった「土手煮」が食べられなかったのだ。

昨年亡くなられたMさんが手間暇惜しまず、この会のために作ってくださった「土手煮」のレシピが誰も分

からなかったのだ。それもそのはずで、十分な下ごしらえをしてから持ち込まれていたからだ。
改めてMさんの優しさを実感したことがあった。

それでも女性陣の皆さんによって、おでんと、豚汁、お好み焼きなどおいしく調理していただき、参加者の皆さんに大変好評で、ほっと胸を撫で下ろしたことがあった。

新しくご参加いただいた方も二名あって、大変有意義な会となった。

来年も多くの参加者があることを願っている。

春季永代経 三月二十日(金)

今月の掲示板

教えを聞くということは、
思いもしなかった自分に
出会うということ。

親鸞聖人は法然上人と出会う前には「助かりようのない身が、助かっていく道」を求めていました。法然上人の「助かりようのない身が、助かるような身になって、たすかるのではない。助かりようのない身のまま、助かっていくのだ」とご教示されました。

宗祖は、そのお言葉によって、新たな自分に出会われ、心を翻させられたのだという。

観梅会

二月二十日(土)～三月八日(日) 十時より十六時まで

ライトアップ 三月七日(土)予定

同時開催 秀瑤書院展 書と墨彩画 短冊作品
墨俣「つりびな祭り」に合わせた開催期間

となっております。併せて楽しんでいただければ幸いです。ぜひお出かけください。



大垣さくら(2月号)

光受寺境内一番咲きの梅→



午前 住職

午後 柴間 麻梨絵

亡き人をご縁にあなた自身に出会う日でもあります。ぜひご参詣いただきますようにご案内申し上げます。

教えて。

この花、何という名前の花かわかりますか？



境内の片隅に咲くこの花。最近気が付いたのですが、とてもきれいな黄色い花です。

新聞原稿募集

口頃の思い、趣味、旅行記自慢話どんな内容でも大歓迎です。
より充実した内容にするためにぜひご協力をいただけたいと思います。